

【大学名】

神戸大学 農学研究科

【事業名】

食料危機に備え資源保全を EU に学びアジアに活かす国際農業戦略の実践的トレーニング

【事業概要】**『EU に学びアジアに活かす若手研究者育成プログラム』**

世界的な食料危機を回避するためには、単一分野からのアプローチでは問題解決はできず、(1)食料 (2)環境 (3)健康生命の3分野すべてのスペシャリストが複合的に連携することが必要です。このため本事業では、こうした分野の最先端研究を担い、歴史的にアジアをよく知り、かつ制度的地域統合を実現したEUにおいて国際農業戦略と国際連携の学術情報や手法を学び、アジアにおける農業教育研究で実践するトレーニングを行うことによって、国際的視野に富む有能な研究者を養成することを目的とします。

養成は以下のとおり、段階的に行います。

- ①アジア事前調査:問題意識を高め、EU トレーニングにおいて習得すべき学術情報や手法を検討する。
- ②EU トレーニング: 専門外分野の学術情報や手法、分野間連携に関する実践的教育研究を行う。
- ③アジアトレーニング: EU で習得した学術情報や手法を共同研究や農学教育に実践する。

派遣する若手研究者のレベルに応じて、具体的なトレーニングの内容は以下を予定しています。

- ・博士後期課程2年次: ITP による海外派遣・外国語学術論文作成・国際学会口頭発表
 - ・博士後期課程3年次: EU 成果をアジアに活かした教育研究・英語博士論文作成
 - ・ポスドク・助教: 国際共同研究における研究指導能力向上・国際研究チームリーダー能力の獲得
- また、本プログラムの特徴の一つに、九州大学大学院農学研究院との連携もあげられます。EU・アジアそれぞれに他大学にはない強みを持つ2大学が連携することにより、『EU に学びアジアに活かす』本事業の成果を倍増することが可能となります。

【協力機関】

九州大学 農学研究院

【海外パートナー機関の名前・専攻等名及び所在地】

ホーヘンハイム大学	農学部	ドイツ・シュツットガルト
アグロバイオ研究所		ブルガリア・ソフィア
ソフィア大学	生物学部	ブルガリア・ソフィア
トラキア大学	農学部	ブルガリア・スタラザゴラ
ハノイ農業大学		ベトナム・ハノイ
ノンラム大学		ベトナム・ホーチミン
フィリピン大学ロスバニョス校	農学部	フィリピン・ロスバニョス

【事業概要】

九州大学との大学間連携による
食料危機に備え資源保全をEUに学びアジアに活かす
国際農業戦略の実践的トレーニング

国際的視野に富む有能な
研究者
(世界的水準の研究人材)

国際シンポジウム開催

平成 22 年度：神戸

平成 24 年度：ハノイ

- ①若手研究者の主体的な企画運営
- ②双方向交流につながる国際的な研究発表の場を企画運営

ポスドク 助教
(任期付き)

国際共同研究における研究指導能力向上と国際研究チームリーダー能力の獲得
・自ら最先端の研究活動
・大学院生のメンター役

准教授
講師

助教
(常勤)

国際
機関

EU 成果をアジアに活かした教育研究と英語博士論文作成
・アジアトレーニング (30 日間) = 共同研究・教育実践
・成果や評価結果ポートフォリオに公表
・英語博士論文の作成
・(高い評価) = 助教 (常勤) への採用
・国際インターンシップ = JICA・ADB での農業政策実践

博士後期課程 3 年次

国際共同研究における研究指導能力
チームリーダー

博士後期課程 2 年次

組織的 ITP 参加・外国語学術論文作成・国際学会口頭発表
・派遣計画策定・プレゼン・評価→公表
・アジア事前調査 (10 日間) = 問題意識・手法検討
・EU トレーニング (6 ヶ月間) = 他分野教育・実践研究
・経過報告・成果・評価結果→公表

実践的農学英語能力
高度な研究能力

学部学生

博士前期課程

博士後期課程 1 年次

国際連携教育体験・基礎農学教育・語学力強化
・学部：基礎的研究能力・語学能力を習得
・博士前期課程：国際的研究能力・語学力強化
・博士後期課程 1 年次：ITP 本格的研究の開始

基礎的農学英語能力
基礎的研究能力

アジア
事前調査

EU トレー
ニング

アジア
トレーニング

【本事業に関する問い合わせ先】

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

TEL: 078-803-5040 FAX: 078-803-5049 E-mail: intl-plan@office.kobe-u.ac.jp

神戸大学国際部国際企画課長 竹下 稔